

排水対策モデル事例の紹介（作付け前）

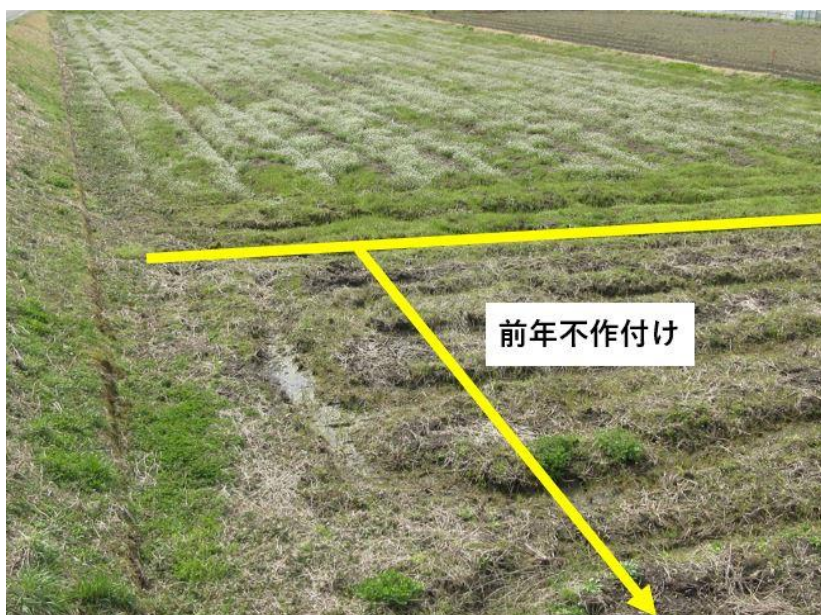
排水不良の原因として、意外と多いのが法面下の湧水と用水路からの漏水です。湧水や漏水を遮断する溝を掘ることにより、良い土の条件で耕うん・うね立てができるようになった例を紹介します。

事例 1

溝を設置した畑は、農道をはさんだ反対側の高い位置に用水路と水田があり、その水が反対側にしみ出てきます。（京丹波町安栖里）



溝設置で、排水不良部分が広がらずにすみました。昨年は 10m あまり耕うんできず、不作付けになりました。（下が昨年写真）



事例 2

高い法面下に水が湧き出しています。昨年は水稲でしたが、田面が軟らかいままで稲刈りに入れませんでした。冬に法面下に溝を掘り、畑内部に水が浸入しないよう排水口も別に作りました。
(京丹波町中山)



事例 3

用水路の漏水が甚だしく、常に水が溜まる状況でした。黒大豆予定 2 筆の用水路側に深い溝をあぜを切って掘り、あぜ沿いに反対側の排水口まで深い溝でつなぎました。(京丹波町富田)



上：施工直後（4月27日）

下：用水路の漏水を反対側の排水口へ（5月25日）



以上の3事例は、良い条件で作付け準備できるよう、耕うん・うね立て前に対処した例です。